Causes of ischemic stroke in young adults versus non-young adults: A multicenter hospital-based observational study

大屋, 祐一郎

<https://hdl.handle.net/2324/6787467>

出版情報 : 九州大学, 2022, 博士 (医学), 課程博士
バージョン :

権利関係 : © 2022 Ohya et al. This is an open access article distributed under the terms of the Creative Commons Attribution License.

氏 名： 大屋 祐一郎

論文名： Causes of ischemic stroke in young adults versus non-young adults: A multicenter hospital-based observational study

(若年成人と非若年成人による脳梗塞の病因学的特徴の差異：多施設共同観察研究)

区 分： 甲

論 文 内 容 の 要 旨

若年成人と非若年成人の虚血性脳卒中の原因を比較した研究はほとんど報告されていない。この研究はわが国で行われている、脳卒中を対象とした大規模多施設共同研究を用いて、非若年成人よりも若年成人で注意すべき、虚血性脳卒中の原因を同定するために行われた。本研究では2007年から2019年の間に入院した18歳以上の急性虚血性脳卒中患者15,860名の連続症例（平均年齢：73.5±12.4歳，男性：58.2%）を対象とした。このうち779名は50歳以下の若年成人に，残りの15,081名は非若年成人に分類された。若年成人全体では，高血圧，糖尿病，脂質異常症といった血管危険因子は非若年成人と比較すると，その頻度は低かったが，40歳以上の若年成人では，非若年成人と比較して，糖尿病と脂質異常の頻度に有意な差を認めなかった。喫煙，飲酒，肥満といった生活様式関連危険因子は非若年成人と比較し，若年成人において頻度が高かった。若年成人の中では，年齢が上がるほどその他の原因による脳梗塞と心原性脳塞栓症の割合は減少し，大血管アテローム硬化と小血管閉塞の割合は増加した。一部の塞栓源（高リスク塞栓源：心房粘液腫，拡張型心筋症，心臓内血栓，中リスク塞栓源：心房中隔欠損症，非細菌性血栓性心内膜炎，卵円孔開存，左室壁低運動）と稀な原因（血管疾患：可逆性脳血管攣縮症候群，もやもや病，その他の血管疾患，動脈解離，脳静脈血栓症，血液疾患：抗リン脂質抗体症候群，プロテインS欠乏症）は，非若年成人より若年成人で頻度が高く，かつ加齢に伴い頻度が減少していた。特定の塞栓源や稀な原因は，若年成人の虚血性脳卒中にとって病因学的に重要である。しかし，血管危険因子と生活様式関連危険因子の寄与は，たとえ若年成人であっても，加齢により無視できないものとなる。